

第2節 精神保健福祉

1 精神保健福祉

地域精神保健福祉業務の中心的な機関として、行政関係、医療、社会福祉施設等の諸機関を含めた地域社会と

の緊密な連絡調整の下に、地域住民の精神的健康の保持と福祉の増進を図るため、諸活動を行っている。

(1) 精神障害者の概況

表1 入院届出等状況 (単位: 件)

平成28年度

区 分	入 院		計
	措 置	医療保護	
症状性を含む器質性精神障害	—	199	199
精神作用物質使用による精神および行動の障害	—	24	24
統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	2	117	119
気分（感情）障害	2	96	98
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	—	12	12
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	—	3	3
成人のパーソナリティおよび行動の障害	—	—	—
精神遅滞 [知的障害]	1	11	12
心理的発達の障害	1	6	7
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 特定不能の精神障害	—	5	5
て ん か ん	—	—	—
そ の 他	—	—	—
不 明	—	—	—
計	6	473	479

※精神保健福祉法に基づく入院届数

(2) 精神保健福祉相談及び訪問指導

表2-1 件数の内訳

平成28年度

区 分	電話相談	来所相談	訪問指導	計
実件数		136	90	
延件数	2,555	366	325	3,246

表2-2 来所経由別 (実件数)

平成28年度

区分	本人	家族	病院	福祉事務所	保健所	精神保健福祉センター	市町	職場・学校	民生委員	その他	計
来所相談	30	34	6	—	15	3	15	4	1	28	136
訪問指導	10	9	13	—	16	2	15	—	—	25	90

表2-3 年齢別件数

平成28年度

年齢	～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	計
電話相談	2	100	392	546	567	507	315	114	12	2,555
来所相談	—	50 (11)	87 (25)	114 (27)	60 (39)	27 (13)	17 (12)	10 (8)	1 (1)	366 (136)
訪問指導	2 (2)	26 (7)	45 (20)	75 (20)	70 (18)	39 (12)	48 (7)	19 (3)	1 (1)	325 (90)

注：() は実件数

表2-4 相談内容別件数

平成28年度

区分	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	摂食障害	てんかん	その他	計
電話相談	41	1,141	74	7	28	34	353	6	14	857	2,555
来所相談	7	170	16	—	2	18	58	3	1	91	366
訪問指導	1	140	8	1	—	7	58	—	4	106	325

表2-5 診断別件数 (診断名はICD10に準ずる)

平成28年度

区分	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保	不	計
来所相談	1 (1)	9 (6)	59 (29)	100 (23)	33 (15)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	32 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	125 (49)	366 (136)
訪問指導	0 (0)	15 (5)	88 (26)	114 (22)	29 (8)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	30 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (1)	42 (20)	325 (90)

() は実件数

表 2-6 病類別相談件数の推移

		平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
		実 件数	延 件数	割 合 (%)	実 件数	延 件数	割 合 (%)	実 件数	延 件数	割 合 (%)	実 件数	延 件数	割 合 (%)	実 件数	延 件数	割 合 (%)
合 計		145	410	100	143	361	100	129	334	100	123	317	100	136	366	100
F0	症状性を含む器質性精神障害	5	6	1.5	6	8	2.2	4	19	5.7	3	11	3.5	1	1	0.3
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害	8	21	5.1	4	7	1.9	7	15	4.5	6	10	3.2	6	9	2.5
F2	統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	28	116	28.3	34	109	30.2	20	82	24.6	13	25	7.9	29	59	16.1
F3	気分障害	29	83	20.2	28	95	26.3	25	84	25.1	30	100	31.5	23	100	27.3
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	10	38	9.3	7	31	8.6	6	10	3.0	3	8	2.5	15	33	9.0
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	5	20	4.9	2	9	2.5	1	1	0.3	4	6	1.9	2	3	0.8
F6	成人のパーソナリティおよび行動の障害	2	7	1.7	1	2	0.6	1	2	0.6	0	0	0.0	0	0	0.0
F7	精神遅滞(知的障害)	3	5	1.2	3	3	0.8	4	5	1.5	3	12	3.8	0	0	0.0
F8	心理的発達の障害	7	26	6.3	10	15	4.2	7	30	9.0	7	21	6.6	9	32	8.7
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	-	-	-	-	-	-	0	0	0.0	1	16	5.0	0	0	0.0
G40	てんかん	1	1	0.2	1	1	0.3	3	4	1.2	1	1	0.3	0	0	0.0
そ の 他		-	-	-	1	1	0.3	-	-	-	1	3	0.9	0	0	0.0
保 留		23	45	11.0	16	42	11.6	1	1	0.3	7	10	3.2	2	4	1.1
不 明		24	42	10.2	30	38	10.5	50	81	24.3	44	94	29.7	49	125	34.2

割合 (%) は延べ件数における各病類の割合を表す

表 2-7 病類別訪問件数の推移

		平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
		実 件数	延 件数	割 合 (%)	実 件数	延 件数	割 合 (%)	実 件数	延 件数	割 合 (%)	実 件数	延 件数	割 合 (%)	実 件数	延 件数	割 合 (%)
合 計		94	338	100	54	200	100	64	226	100	80	361	100	90	325	100
F0	症状性を含む器質性精神障害	-	-	-	-	-	-	3	10	4.4	2	3	0.8	-	-	-
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害	3	5	1.5	-	-	-	4	12	5.3	2	2	0.6	5	15	4.6
F2	統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	26	128	37.9	14	73	36.5	15	82	36.3	13	59	16.3	26	88	27.1
F3	気分障害	25	88	26.0	15	67	33.5	11	33	14.6	23	134	37.1	22	114	35.1
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	12	30	8.9	4	12	6.0	4	7	3.1	3	45	12.5	8	29	8.9
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	4	14	4.1	1	1	0.5	2	6	2.7	-	-	-	-	-	-
F6	成人のパーソナリティおよび行動の障害	2	3	0.9	2	4	2.0	2	6	2.7	-	-	-	-	-	-
F7	精神遅滞(知的障害)	-	-	-	-	-	-	4	9	4.0	-	-	-	1	2	0.6
F8	心理的発達の障害	5	13	3.8	5	15	7.5	6	27	11.9	7	24	6.6	7	30	9.2
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	1.4	-	-	-
G40	てんかん	-	-	-	1	2	1.0	2	7	3.1	-	-	-	-	-	-
そ の 他		1	5	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保 留		10	34	10.0	4	10	5.0	1	1	0.4	4	19	5.3	1	5	1.5
不 明		6	18	5.3	8	16	8.0	10	26	11.5	24	70	19.4	20	42	12.9

割合 (%) は延べ件数における各病類の割合を表す

(3) 自殺防止対策事業

日本における自殺者数は、平成10年から平成23年まで年間3万人を上回り、大きな社会問題となった。

平成24年から自殺者数は3万人を下回ったものの、依然として多くの命が失われている現状である。

県では、平成19年度に「自殺対策行動計画」を策定し、自殺防止緊急対策基金を活用し、総合的な自殺対策に取り

組んできた。平成27年度以降は交付金を活用し、更なる自殺者数の減少のため、効果的な自殺対策の推進を図っている。

自殺の原因は、健康問題、経済・生活問題、対人問題等多岐にわたり、個人の問題にとどまらず、地域社会全体で取り組まなければならない課題となっている。

表3-1 地域連携会議の開催状況

平成28年度

事業名	日時	内容	参集者	参加者数
自殺対策担当者連絡会	H28. 6. 20	意見交換	行政	13人
第1回自殺防止対策地域連絡会	H28. 10. 14	活動報告・意見交換(グループワーク)	行政、医療、福祉機関、各種団体	38人
第2回自殺防止対策地域連絡会	H29. 3. 6	同上	同上	35人

表3-2 研修会の開催状況

平成28年度

事業名	日時	内容	参集者	参加者数
自殺防止対策研修(第2回自殺防止対策地域連絡会と同時実施)	H29. 3. 6	講義 「対策における個人情報の取り扱いについて」 講師：あおぞら共同法律事務所 代表 西村 依子 氏	行政、医療、福祉機関、各種団体	35人

表3-3 ハローワークにおける包括相談事業の実施状況

ハローワークを会場に、失業者や多重債務相談とこころの自殺予防につなげる。

相談などワンストップ相談を開催。相談支援の充実を図り、

平成28年度

日時	場所	出務者の職種	相談件数
H28. 9. 20	ハローワーク小松	司法書士、精神保健福祉士	3
H28. 9. 29	ハローワーク加賀	同上	2
H29. 3. 2	ハローワーク加賀	同上	0
H29. 3. 3	ハローワーク小松	同上	0

表3-4 うつ・依存症家族教室の開催状況

自殺リスクの高いうつや依存症者の家族及び支援者等に対し、正しい知識を普及する。また、家族自身の心身の健康を守る

ための方法なども学び、家族等の支援を通してうつ・依存症者への支援を図る。

平成28年度

日時	名称	内容	参加者数
H28. 7. 22	アルコール依存症家族教室	講話「アルコール依存症の理解と対応 ～病院におけるアルコール依存症治療プログラム～」 講師：加賀こころの病院 岩本 裕美 氏(心理士)	14人
H28. 9. 23	うつ病家族教室	講話「うつ病の理解と対応 ～ストレスからうつ状態、うつ病へ～」 講師：小松市民病院精神科医長 山口 陽平 氏(精神科医)	30人

表3-5 ゲートキーパー養成等事業の実施状況

広く一般の人々に自殺予防に関する理解を深め、身近な紹介できる人（ゲートキーパー）を養成する。
 人の異変に気づき、声をかけ、話を聴き、適切な相談先を

平成28年度

日時	場所	内容	対象者	参加者数
H28. 6. 9	加賀商工会議所	職場におけるメンタルヘルス対策について	企業衛生管理者	23人
H28. 6. 16	南加賀保健福祉センター	同上	南加賀食生活改善推進協議会会員	51人
H28. 6. 20	加賀商工会議所	同上	企業衛生管理者	10人
H28. 6. 21	市町村職員労働組合保養所	県政出前講座	金沢検察審査協会	30人
H28. 7. 27	小松看護学校	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生	32人
H28. 9. 27	小松日の出合同庁舎	職場におけるメンタルヘルス対策について	企業衛生管理者	17人
H29. 2. 6	小松市役所	ゲートキーパー研修会	小松市電話相談員	21人

表3-6 自殺未遂者支援体制整備事業

平成27年12月より救急告示医療機関である小松市民病院と、平成29年1月よりやわたメディカルセンターと自傷行為・自殺未遂者のための連携事業を開始した。
 自傷行為及び自殺未遂者本人や家族へのこころのケアが実施できる体制を整備し自殺の再企図防止を目的としている。

平成28年度

日時	名称	場所	対象者	参加者数
H29. 3. 13	自殺未遂者支援研修会	加賀市医療センター	救急告示医療機関、精神科医療機関、消防署、市町	33人

(4) ひきこもり社会参加復帰支援事業

表4-1 ひきこもりに関する相談状況

平成28年度

区分	電話相談	来所相談	訪問指導
実人数	354	30	19
延人数		129	53

表4-2 ひきこもり当事者グループ活動の実施状況

平成27年8月～、新規に開始した事業。月1回、第3金曜日の13:30～15:30に活動。

平成28年度

開催回数	場所	内容	参加人数
12回	南加賀保健福祉センター	話し合い、軽スポーツ、料理教室等	4人(延29人)

表4-3 ひきこもり家族教室の実施状況

平成28年度

日 時	場 所	内 容	参 加 者
H29. 2. 3	南加賀保健福祉センター	ひきこもり当事者サポーター2名からのメッセージ、質疑応答	18人 (ひきこもり当事者、家族、支援者等)
H29. 2. 10	同 上	ひきこもり家族サポーター2名からのメッセージ、質疑応答	25人 (同 上)

(5) 精神障害者地域生活支援事業（退院促進事業）

平成19年度より開始している事業。精神科病院に入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば退院可能な者に対し、円滑な地域移行に向けての支援を行い、社会復帰の促進を図ることを目的としている。平成26年4月の法改正により、医療保護入院者の退院促進措置が病院の管理者に義務づけられた。

精神障害者の地域移行に関わる関係者を対象に事業の主旨の共通理解を図り、支援体制づくりの向上に努めた。また、支援活動を行うにあたり、地域で生活する当事者をピアサポーターとして県で養成し、対象者や家族に対し、地域移行に関する相談・助言を行っていく。

表5-1 精神障害者地域生活支援事業実施状況

平成28年度

日 時	名 称	参 加 者 数
H28. 9. 5	精神障害者地域生活支援事業連絡会	26人 参集者：精神科医療機関、相談支援事業所、金沢保護観察所、市町、当所

表5-2 ピアサポーターの登録・活動状況

平成28年度

日 時	活 動 内 容	参 加 人 数
H28. 12. 15	ピアサポーター養成研修会に参加	3人
H28年度	ピアサポーター新規登録者 3名 計4名	

(6) 精神障害者地域療養支援事業（日本精神科病院協会へ委託）に開催協力

平成27年度より2年間実施の新規事業。精神障害者の在宅での生活を支援するため、各地域の精神科病院と訪問看護等

の連携体制を構築し、入院初期から退院に向けた調整や、退院後の訪問支援の強化を図る。

表6-1 南加賀圏域での研修会開催状況（共催）

平成28年度

日 時	場 所	内 容	参加者数
H28. 9. 13	南加賀保健福祉センター	講演「ファシリテーションについての説明～事例検討に向けて～」 講師 やたの・はしたて生活支援センター 岡安 努	42人
H28. 10. 24	加賀市医療センター	市ごとの事例検討（加賀市）	24人
H28. 11. 25	同 上	同 上	24人
H28. 12. 16	同 上	同 上	25人
H28. 10. 19	小松市すこやかセンター	市ごとの事例検討（小松市）	25人
H28. 11. 16	同 上	同 上	24人
H28. 12. 14	同 上	同 上	22人
H28. 11. 8	南加賀保健福祉センター	市ごとの事例検討（能美市）	25人
H28. 12. 6	同 上	同 上	24人
H28. 12. 9	同 上	同 上	21人

(7) 関係機関との連携

表7-1 研修会・連絡会の開催状況

平成28年度

日 時	名 称	参 集 者	参加者数
H28. 6. 20	精神保健福祉担当者連絡会	市町関係課、南加賀保健所	13人
H28. 12. 27	同 上	同 上	14人

表7-2 関係機関との連携、会議等への参加状況

平成28年度

主 催	会 議 名	回 数	参 加 延人数
加賀公共職業安定所	加賀地域障害者雇用連絡会議	1	15人
こまつ安心相談センター	生活困窮者自立支援調整会議	2	32人
県庁障害保健福祉課及び県警察本部	ブロック別担当者会議	1	12人
金沢保護観察所	薬物依存対象者連絡会議	1	48人
大聖寺警察署	相談支援ネットワーク連絡会	1	12人
粟津神経サナトリウム	精神障害者療養支援事業研修打ち合わせ	2	24人
小松市	虐待等防止協議会 (DV対策部会)	1	18人
小松市	虐待防止協議会 (いのちと心の部会)	2	32人
小松市	自立支援協議会 地域移行・地域定着支援事業推進にかか るワーキング	8	100人
小松市	障害者自立支援協議会 (児童デイ活動チーム会議)	2	14人
加賀市	じりつ支援協議会	2	90人
加賀市	自殺防止対策担当者連絡会	2	16人
能美市	虐待防止協議会DV対策部会	1	12人
能美市	自殺防止対策連絡協議会	1	18人
メンタルヘルスボランティア	役員会、例会、講座	5	72人
こころのどあ加賀	定例会	12	74人

表7-3 管内市町の母子保健福祉事例検討会（母親のメンタルヘルス支援）

平成28年度

場 所	内 容	回 数	参 加 延人数
小松市すこやかセンター	事例検討会 「精神疾患や育児困難などで支援が必要な妊産婦について」	12	198人
加賀市市民会館	同 上	12	184人
能美市 健康福祉センター「サンテ」	同 上	12	152人
川北町保健センター	同 上	12	33人

表7-4 事例検討会・ケア会議に出席

平成28年度

市町別（対象者住所別）	主 催	回 数
小松市	南加賀保健所	1
	精神科病院	11
	小松市	2
	地域包括支援センター	2
加賀市	南加賀保健所	1
	加賀市	3
	相談支援事業所	1
	地域包括支援センター	1
能美市	精神科病院	4
	能美市	1
	相談支援事業所	1
	保健所	1
川北町	南加賀保健所	2

表7-5 医療観察法による事例検討・ケア会議への協力

平成28年度

主 催	内 容	ケース数	出席回数	参加人数
金沢保護観察所	個別ケースの支援方法や役割分担についての検討	4ケース	15回	延134人